

東北森林管理局

## 山形森林管理署 もがみ支署通信

【真室川中学生に職場体験をしていただきました。】

野外で機器操作の体験中



【6月21日(水)】真室川町教育委員会が主催する令和5年度真室川町キャリア・スタート・ウィーク事業に参画しました。当日は、当支署のほか真室川町内に所在する山形銀行や保育園など多様な職種の企業が参画していたところです。各企業ブースにて職場体験する真室川中学生は6名1班編制となり1班あたり2ブースの職場体験を行うとのことでした。

当支署からは地上型3Dレーザー(アウル)による森林蓄積調査と測高器(トゥルーパルス)を用いた樹高調査を体験してもらいました。班員が6名なので、調査ポイントも6ポイントと全員が操作体験を行い、それに引き続き測高器を用いた樹高調査も行い、目測と機器による測定での差異について体感してもらいました。

屋外での調査体験終了後、ブースに戻り調査データをPCで解析し結果をお見せしたところ「すごい!」との声が上がったところです。それもそのはず、作業自体は地味ですが解析結果が3D表示されるといったインパクト。校庭内の樹木や機器操作を見守っていた同級生の姿もスキャンされ画面に映り込んでおり、同時にスキャンされた画像を動かして確認できる点にも驚かれていたところです。時間制限上、詳しいことは伝えきれなかったものの機器が有する性能に興味を持ってもらえた点だけでも、参画して良かったと感じたところです。

最上支署では、地域の林業を担う次世代の育成を支援するため、今後もこういった取組に積極的に参画していきます。

令和5年度労働災害防止意見交換会を開催しました。

点検結果を発表し意見交換



【7月21日(月)】林業における労働災害を未然に防止するため最上支署管内の林業関係者・労働基準監督署など総勢38名が集まり意見交換会を行いました。

前段として、参加者全員で牛潜山国有林2170へ林小班で実施している下刈作業の作業手順などに関し安全点検を行ったところです。当日は30度を超える気温で、下刈を行う作業も点検を行う参加者も吹き出る汗を拭いながら皆様熱心に作業方法や作業環境の確認を行っていました。

作業地の安全点検後、会議会場に戻り参加した各事業者より安全点検の結果を発表していただき、その内容を元に災害防止に向けた取組等に関し意見交換を行いました。

また、新庄労働基準監督署からは、林業における安全作業について安全指導があり、災害発生の状況や傾向、各作業種の災害事例の説明、それらを未然に防止するための対策等に関し指導があり、参加者一同災害防止の必要性を再認識したところです。

最上支署では、これからも林業の現場における災害を未然に防止するため、関係機関や各林業事業者と連携し、安全指導等の取組を行って参ります。

〒999-5312 山形県最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11  
TEL:0233-62-2122/FAX:0233-62-2706

